

1 指導概要

教科		科目		
芸術		美術 I	単位数： 2 単位	
<p>指導目標：美術の幅広い創造活動の豊かな美的体験によって、生涯にわたり美術を愛好する心情を育て、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。表現の活動では、主題生成の能力、創造的に構想する能力、表現しながらさらに構想を確かめ練り直す能力、材料や用具の特性を生かし創意工夫して表す技能などを育成する。鑑賞の活動では、美術作品や文化財等に映し出された美や創造のすばらしさ、人々の生活や願いなどを感じ取るとともに、生活を心豊かにする美術の働きや美術文化を理解したりする能力などを育成する。</p>				
メディア視聴	事情に応じて許可（東京書籍） ①視聴講座を 100%視聴 ②確認テストクリア	60%	教科書	教科書 高校生の美術 I（日本文芸出版 702）
スクーリング	1 単位時間×8 回	合格時間数 8 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全 6 回	合格枚数 8 枚	副教材	NHK 高校講座
回	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	「美術とは何か」オリエンテーション 「身近なものを描く」ふでばこを描こう 「人物を描く」自分のいる風景を描こう	第 1 回 (5/30)	第 1 回	小・中学校での図工・美術の学習を振り返り、高校での美術 I の学習についてのイメージをもち、美術の学びの意味や広がりについて考えることができる。  身近なものを見つめ直し、よさや美しさに気づき、感じ取ったことや考えたことなどを基に構想を練り、配置や構図を工夫して表現することができる。
			第 2 回	自己の内面を深く見つめ、自分らしさとは何か、性格や個性などについて考え、場面やポーズを工夫して自分のよさやイメージを表現することができる。
2	「デザインの世界」デザインの広がりを考える 「ポスターで伝える」文化祭ポスターをつくろう（構想） 「色彩、文字、美の秩序などについて学ぶ」 「ポスターで伝える」文化祭ポスターをつくろう（表現）	第 2 回 (6/30)	第 3 回	デザインの世界の幅広さや役割を理解し、デザインとは何か、デザインするときに必要なことは何かを考えながら鑑賞し、表現につなげる。ポスターの目的を理解し、伝達の効果を考えてイラストレーションや文字を検討し、配置や配色を工夫して、文化祭ポスターを構想する。
			第 4 回	文化祭ポスターを構想するための形や色の性質や特徴などについて学び、制作につなげ

			回	る。ポスターの「伝達」の機能と役割について考え、伝えたい内容が効果的に伝わる文化祭ポスターを工夫し、表現することができる。
3	「日本美術」日本の美術の魅力をあじわおう	第3回 (7/30)	第5回	表現の方法や形体、題材等に注目し、日本の美術の魅力、広がり、つながりを考え、日本の美術の美意識や自然観などを理解する。
4	「写真表現」友人に伝えたい校内風景 「写真表現」友人に伝えたい校内風景（作品鑑賞）	第4回 (9/30)	第6回	<p>表したいイメージを基に、構図や画面構成を考え、光や影の効果などを工夫しながらカメラの特性を生かして、友達に伝えたい、校内にある何気ない美しさを写真で表現することができる。</p> <p>構図や画面構成、光や影の効果などの工夫やカメラの特性の生かし方などを読み取りながら、お互いに作品を鑑賞し、批評することができる。</p>
5	「若沖と今を結ぶ」映像の広がり可能性を考える 「映像で伝えるメッセージ」学校案内をつくろう 「映像で伝えるメッセージ」学校案内をつくろう（作品鑑賞）	第5回 (10/15)	第7回	<p>映像メディア作品を鑑賞し、映像の広がり可能性を考え、表現につなげる。</p> <p>グループに分かれ、話し合いながら、絵コンテをつくり、撮影、編集し、伝えたい内容を、時間の流れや物語性などの映像表現の特性を生かして表現することができる。</p> <p>作品を鑑賞し、各グループの制作意図や撮影、編集などの工夫を知り、意見を述べ合い、批評し合うことができる。</p>
6	「視覚のトリックを生かして」だまし絵で表現する 「これからの私と美術」オリエンテーション	第6回 最終提出： (11/30) 提出予備日： (1/15)	第8回	<p>錯視やイメージの重なりなどの効果を生かし、写真と絵画を組み合わせた表し方を工夫し、不思議な世界を表現することができる。</p> <p>美術Ⅰの学びを振り返り、「美術とは何か」について考え、これからの美術との関わりについて理解を深める。</p>

## 2 評価の観点

知識・技能	テストの結果で評価します。
思考・判断・表現	レポートの最終問題で評価します。
主体的に学習に取り組む態度	スクーリング時に取り組む姿勢や、成果物で判断します。 ※メディア視聴の成果もこの観点で評価します。

### 3 評価の方法

上記の観点に基づき、年度末に5段階で評価を出します。

【知識・技能】テスト結果(7割)

【思考・判断・表現】レポート最終問題(2割)

【主体的な態度】スクーリングの時の成果物(1割)

### 4 担当者からのメッセージ

美術Ⅰでは、スクーリングへの出席(取り組む姿勢)、レポートの提出(レポートの内容)、試験結果を総合的に判断し、評価します。普段見慣れているものを新たな視点から捉え直したり、自己の考え、将来の夢や願い、理想の世界などを、多様な視点から見つめ直したりする特訓を行います。教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。また、NHK 高校講座の視聴も基本的な美術Ⅰの概観に役立ちますので、活用してください。